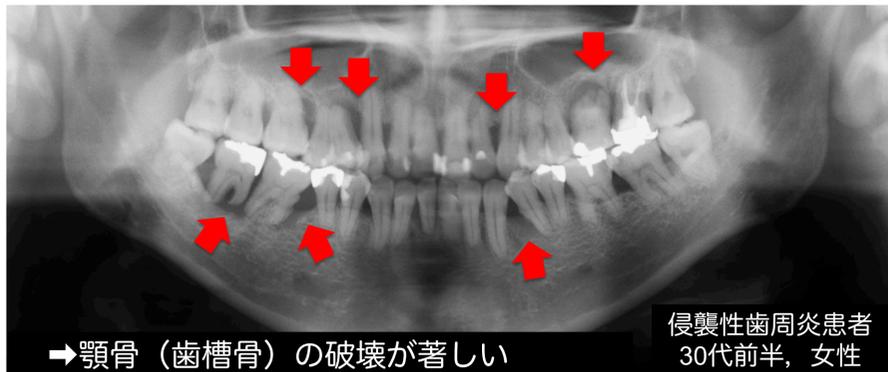


# 侵襲性歯周炎センター

侵襲性歯周炎は、若年期（15～34歳頃）に急激な歯周組織の破壊が起こる疾患です（平成23年度 厚労省補助事業-難治性疾患情報班・奨励研究分野）

## 侵襲性歯周炎の特徴

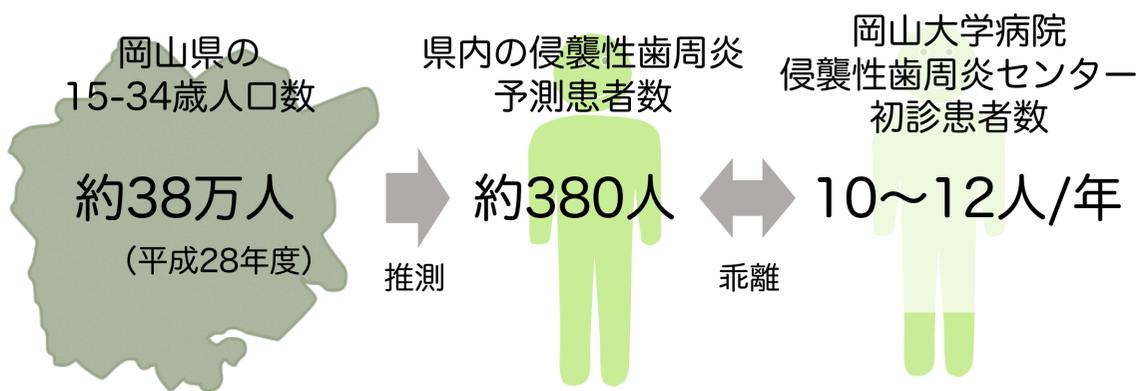
### ●若年期の重度の歯槽骨破壊



### ●その他の特徴

- ・全身的には健康
- ・家族内集積
- ・歯垢や歯石の量に一致しない歯周組織の破壊
- ・発症率は0.05%～0.1%

局所のみなので、  
抜歯して補綴処置と  
なることが多い



早期発見し、早期に専門的な治療を受けることが重要！

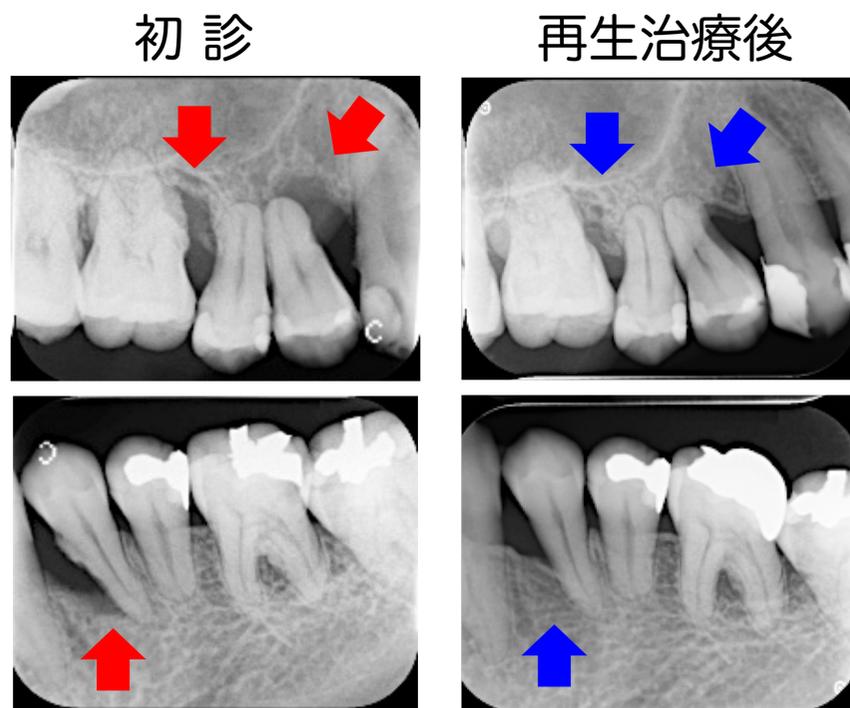
侵襲性歯周炎患者に対して、適切な診断・治療を受けられる環境が必要！

## センターの理念と特徴

- ・歯周病専門医を中心とした医科歯科連携によって診断と治療，治療後の維持管理を包括的に行う
- ・侵襲性歯周炎に関する総合的な教育・研究の向上を図る
- ・地域医療の充実と発展に寄与する

	診療科名等	診療内容
協力診療科等	歯科放射線・口腔診断科 精神科神経科，小児神経科 矯正歯科，咬合義歯補綴科 クラウンブリッジ補綴科 予防歯科，看護部 歯科衛生士室，バイオバンク	診断，心理サポート リハビリ，再発予防 患者支援 研究支援
主要診療科	小児歯科，小児科，総合内科	早期発見，生活指導 診断（全身因子）
主要診療科（中心）	歯周科	診断・治療

## 侵襲性歯周炎の治療



適切な治療を受けると良好な治療反応が得られます。気になることがあれば気軽にご相談下さい

若くして歯を失わないように！